

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の部門番号一覧からご確認ください。

専修大学 大学 中野英夫 ゼミ A パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ これからの日本の医療・介護制度について

サブテーマ 医療・介護費の持続可能性

趣意文

少子高齢化社会が進む日本の過去から現在の医療、介護費の財源の内訳や制度の仕組み、高齢者人口の割合などから問題点をあげ将来世代の医療・介護制度の持続可能性について考える。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央大学

宮本悟ゼミ

宮本ゼミ A パート

13

部門番号

部門名 社会保障論

テーマ 「働き方改革」について

サブテーマ 「働き方改革」で女性は幸せになれるか

趣意文

現在、日本では政府主導の「働き方改革」に関して活発な議論が展開されている。他方、女性をめぐる生活・労働問題への社会的関心も高まっており、例えば、育児休業や産前・産後休業の改善、セクハラ・パワハラ・マタハラなどと呼ばれる種々のハラスメントへの対応策、管理職の男女間格差是正などが真剣に論じられるべきであろう。また、子育てを理由とする女性の離職についても、仕事と生活の調和という視点からの課題解決が求められている。

こうした問題意識の下、私たちの班では、「働き方改革」を軸に据えつつ女性の労働・生活の在り方について討論をするべく、主に下記の項目について研究を進めている。

- ・子育てを理由とする女性の離職
- ・労働形態の在り方
- ・育児休業の取得率(男女)
- ・「働き方改革」構想の問題点
- ・女性の復職支援
- ・子育て中の女性に対する支援策

以上

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。  
部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央大学

宮本ゼミ

B

パート

13

部門番号

部門名

社会保障論

テーマ 所得格差と教育格差

サブテーマ 格差がもたらす諸問題

趣意文

現代の日本では様々な格差の存在が問題となっている。所得格差、教育格差、環境格差といったものがその例である。その中で私たちのグループでは所得と教育の2つに注目し具体的にどのような点が問題となっているか、またこの2つの格差がどのように関わっているのかについて研究を進めている。

# テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央大学

佐藤拓也ゼミ

佐藤拓也 B パート

13

部門番号

部門名 社会保障論

テーマ ベーシックインカム

サブテーマ 現在の社会保障制度との比較

趣意文

最近、世界では社会保障の代わりにベーシックインカムが注目を浴びている。ベーシックインカムは人を選別することなく国民全員に給付するため、人々は働かずとも最低限度の生活を送ることが保障される。もしこの制度が実現可能ならば、生活保護を受けられない人々の救済やワーキングプアの解消に繋がるだろう。だが今現在ベーシックインカムを本格的に導入している国は存在していない。そこで我々は財源や原理的にみて実現が可能なのかどうか疑問に思い、このテーマを設定した。

「ベーシックインカムは長期において財政面で実現可能か」「ベーシックインカムがなぜ福祉国家で採用されないのか」「ベーシックインカムで労働意欲は低下しないのか」「現在の資本主義の原理とベーシックインカムの両立は可能であるか」以上の4つの問題をベースに討論していきたいと思う。

## テーマ趣意文

※「テーマ趣意文記入例」に目を通していただいた上で記入をお願いいたします。

部門番号一覧は、ホームページ上の[部門番号一覧](#)からご確認ください。

中央大学 大学 林 ゼミ 福祉 パート

13

部門番号

部門名 社会保障論

テーマ 日本及び諸外国における保険制度の在り方

サブテーマ 公的保険、民間保険、それぞれの役割に注目して

趣意文

現在日本でも少子高齢化からくる財源不足や、自己負担率の値上げなど、公的保険や民間保険の在り方が問題視されている。特に保険制度を国が一括管理するか、民間にも委託し、保険という市場をひろげるかについては、保険制度を考えるうえで最も重要な課題の一つである。また、主に途上国では政治の不安定、税制度の脆弱性から国民のために保険制度を整えることは難しいという問題がある。そこで私たちは、途上国に保険制度、主にインドネシアで新しく始まった国民皆保険制度について調べている。インドネシアでは2014年から今まで国内に存在していた保険管理主体を国が吸収し、国民皆保険への一本化をスタートさせた。しかしながら、税収の不確実性や、低所得者層が多いために国の負担が追いつかないなど多くの問題を残している。そこで、完全に市場主義化されたアメリカの保険制度、国が一括して管理しているイギリスの保険制度、そして、民間と公的保険の混在する日本の保健制度と比較して、インドネシアの国民皆保険の在り方について議論していきたい。